



1. 活動日時：2014年12月13日（土） 10：00～15：00
2. 参加者： 10名（現役GS：5名 社友GS：5名）
3. 活動内容

- ・計画では竹林の間伐をメインに考えていましたが、自然林に戻す計画で竹の皆伐を進めてきた作業道から上の斜面に細い竹が一面に生えていたので、急遽これの皆伐に取り組みました。
- ・午後は、遊歩道との境界に設けていた竹柵が一部壊れていたもので修復するとともに、間伐した竹の有効活用として基地に自作門松を設置することとし、材料として竹三本を基地に運びました。（チーム神於山有志で門松作成予定）
- ・竹林は急斜面に有り、タケノコを掘るには適していますが、管理には大変な労力が必要です。その厳しい環境下で、予定外の活動に汗を流して頂いた10名のGSの皆さん、本当にお疲れ様でした。

4. 今後の活動

- ・3月頃までは、今回出来なかった竹の間伐が活動の中心になります。間伐した竹は岸和田市より協力要請のあった3月の岸和田市イベントでの竹燈籠の作成等に活用する予定です。
- ・また「フクロウの棲む森づくり」をテーマに、植栽地の間伐をどう進めるかについて、大阪府泉州農と緑の総合事務所・岸和田市等と打ち合わせを行い、検討していく予定です。

■上部斜面の竹の皆伐。

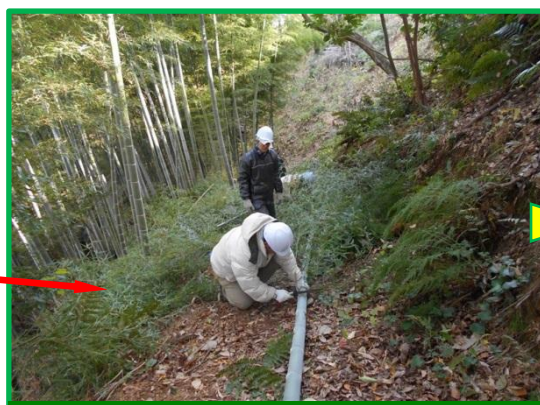
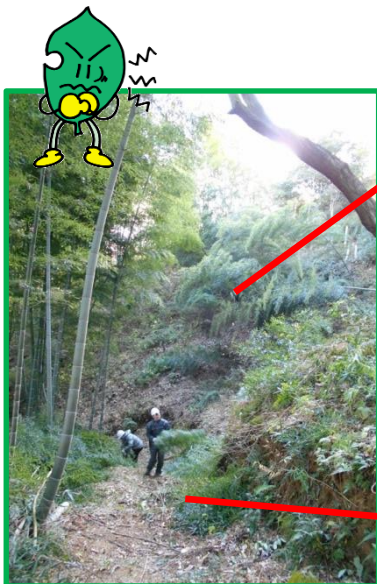
自然林化を計画通り進める為に、作業道から上部の斜面の竹を再度皆伐しました。



■作業風景。

現場は60度近い急斜面で、竹を切る位置と作業道との高低差は10m以上有りますから慎重に作業を進めました。

- ・作業は、竹を伐る班と伐った竹の枝を払い作業道沿いに積みあげる班の2班に分かれて行いました。



■活動頂いたGSの皆さん。お疲れ様でした。

午前中は9名でしたが、午後田平さんが参加。計10名になりました。



きつい作業でしたが、皆さん満足気です。

- ・竹を皆伐したことで、自生のもみじが再び姿を現しました。これで綺麗な紅葉が見られそうです。
- ・11月8日のSGC活動で本伏せした檜木にシイタケが沢山出ていました。収穫が一週間遅れたためにお化けになっていましたが、これからが楽しみです。



隠れていた自生のもみじもスッキリ。



シイタケ大豊作！

■遊歩道との境界の竹柵の修理。

壊れた柵を外し、新しい柵に掛け替えました。



ing

- ・SGCが管理している竹林は、遊歩道に面していますから、境界線に竹柵を設けています。
- ・伐った竹を有効に活用する為、先ず柱にする竹を一定間隔で選び、その竹を挟む様に上下に竹で棧を付け、その棧の間に切った枝や、竹の先端の細い部分を縦に差し込み目隠しにしています。



- ・一度経験した作業なので、要領は心得ていましたが、その分色々な意見が出てワイワイがやがや。
- ・しかし結果は、船が山に登ることも無く無事作業を終えました。
- ・皆さん流石です。

■作業風景

竹を伐り出す人、枝を払う人、竹を保持する人、番線で締める人。役割は自然に決まりました。



横棧に使う竹を新たに切り出し・・・



柱にする竹に番線で固定し・・・



上下の棧の間に切った枝を差し入れ・・・

完成!



午前が続いて達成感のある活動になり、大満足です。



以上